

【瑞浪市】 校務D X計画

瑞浪市は、令和2年度に行った1人1台端末の導入を機に、クラウドツールを利用した児童生徒への連絡や各種アンケート調査、県内の自治体と共同調達した校務支援システムを導入し、出欠席や各種帳票の管理、会議のオンライン化等の校務D Xに取り組んでいます。

今後、クラウドを活用した校務効率化のさらなる推進のために、「G I G Aスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や、「G I G Aスクール構想の下での校務D X化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえ、校務D Xに係る具体的な取組を次のとおり定めます。

1 F A X及び押印の見直し

教育委員会と学校とのやり取りにおいて、原則としてF A Xは使用しないことにしています。また、押印についても特に必要のあるものを除き廃止しています。今後も、継続的に必要性を検討し、必要に応じて見直しをしていきます。

2 校務支援システムの導入

校務支援システムを利用して、各種帳票の管理や教職員の出退勤管理等をしています。小学校入学時の名簿情報の入力やアカウントの付与を市教育委員会で一括して行い、学校の業務軽減をしています。

現在使用している校務支援システムはオンプレミス型ですが、令和8年度に予定しているクラウド版校務支援システムの導入に向けて、クラウド化やセキュリティ強化等、他の自治体と協議をしながら準備を進めています。

3 クラウド環境を活用した校務D Xの推進

(1) ペーパーレスの推進

各学校では、保護者への連絡や文書配布に連絡ツールを利用しています。また、児童生徒や保護者対象のアンケート、校内での会議資料配布や教職員間の情報共有に、クラウドツールを利用しています。

教育委員会から各学校に送付する文書は、原則として電子メールでの送信、または共有サーバへの保存をしています。また、各種調査はクラウドツールを活用して行っています。しかし、会議資料の配付や端末を持ち込んでの会議や研修については一部に限られているため、さらなるデジタル化を進めてまいります。

(2) クラウドツールの活用

クラウドを利用して授業支援ツールや自動採点システム、出欠席連絡の受付、各種アンケート等を行っています。今後、クラウド版校務支援システムのさらなる活動やデータ連携に

についても検討していきます。また、校務での生成A I 活用に向けて、文部科学省のガイドラインを周知するとともに、安全な活用に向けて教職員研修を実施します。

4 ゼロトラスト環境の構築

現在、瑞浪市では校務系ネットワークと学習系ネットワークは分離しています。これによりセキュリティ面が強化される一方、学習系端末と校務系端末の連携が容易でない、教職員の場所を選ばない働き方を阻害する、といったことの要因ともなっています。

今後のさらなるI C T活用の加速を想定し、ゼロトラストセキュリティ導入を計画します。